

平成27年第7回 沼津市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成27年7月22日（水）午後1時30分～午後3時20分

2 場 所 沼津市立沼津高等学校 求道館 1階 学習室兼食堂

3 日 程

(1) 会議録署名人の指名（細沼委員 三好委員）

(2) 教育長の報告

(3) 議 案

議第24号 平成28年度～平成31年度使用の中学校教科用図書の採択について

議第25号 平成28年度～平成31年度使用の沼津市立沼津高等学校中等部教科用図書
の採択について

議第26号 平成28年度使用の沼津市立沼津高等学校教科用図書の採択について

(4) 協 議

なし

(5) 報 告

1) 6月市議会定例会提出議案等について

2) 平成26年度 教育委員会事務点検・評価について

3) 第31期沼津市社会教育委員会の答申について

(6) その他

なし

4 出席者等

委員長 久松但、委員長職務代理者 細沼早希子、委員 三好勝晴、委員 土屋葉子、
教育長 工藤達朗、教育次長 井原正利、市立沼津高等学校校長兼中等部校長 川口孝博、
教育指導監兼学校教育課長 大川淳、教育企画室長 真野正実、学校管理課長 山本貴史、
教職員研修センター所長 望月 まゆみ、文化振興課長兼戸田造船郷土資料博物館長 勝又惠三、
生涯学習課長兼勤労青少年ホーム館長兼ゆめとびら舟山所長 中村朗、少年自然の家所長
石井学、スポーツ振興課長兼市民体育館長兼勤労者体育センター所長 原靖、図書館長 杉山一夫、
図書館事務長 芹澤恵美子、市立沼津高等学校事務長 杉山善英、青少年教育センター所長
相磯幸代、調整担当 新井寿明、教職員研修センター指導主事 佐野 貴明、
教育企画室指導主事 本杉淳、教育企画室主任 岡村和人、教育企画室主事 和泉百映

5 会議内容

久松委員長が、午後1時30分開会を宣言する。

久松委員長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人9人。

久松委員長より、会議録署名人に細沼委員、三好委員を指名する。

<教育長の報告>

改めましてこんにちは。

梅雨が明け、猛暑となったと感じております。

高校野球真っ盛りの時期で、ちょうど今、沼津市立高校が富士球場で戦っている最中

です。いい報告が来ることを願っております。高校生は、炎天下のグラウンドの中で汗を流しながら、青春を謳歌しているところであります。若いということは、素晴らしいと、改めて思っているところであります。

さて、本日は、これから4年間中学生が使う教科書の採択を行う重要な会議でございますので、教育委員の皆様には、ぜひ十分にご審議をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いたします。

もうひとつは、24日金曜日は小中学校の終業式です。1学期が終わります。早いと感じながら、教育委員会として1学期が間もなく終わることを振り返ってみますと、子どもたちを取り巻く、様々な環境の中で、大岡南小学校での事故がありましたが、その子どもは後遺症もなく、元気に過ごしているということで安心しております。これ以外は、子どもたちに関する、大きな事件事故も無く、関係の皆様には、厚く御礼申し上げます。

振り返ってみますと、今年から総合教育会議が始まりました。教育委員の皆様には、5月12日に第1回目が開催され、7月28日に第2回目の総合教育会議が行われる予定ですが、ここでは、沼津の教育をどうするかという重要な、沼津の教育の方向を示す教育大綱について協議することになりますので、よろしく願いたします。

また、文化関係におきましては、非常にめでたい話で長浜城跡が開園しました。もうひとつは、高尾山古墳に色々な意味での課題等が出てきてまして、新たな協議会が立ち上がったことがあります。これも、教育委員会としては非常に重要なことで、この協議会の推移、最終的には市長が判断するわけですが、この動向というものも、教育委員会にとりましては非常に大事なことで改めて思っております。

また、振り返りますと、新体育館につきましても、一步一步進んでいるものと思っております。

それ以外にもまだまだありますが、今後も、様々な大事な協議がありますので、よろしく願いたします。

<議案>

議第24号 平成28年度～平成31年度使用の中学校教科用図書の採択について

(教職員研修センター所長 資料に基づき説明)

久松委員長 それでは、先に、議第26号までの説明をしていただき、その後教科書の見本の閲覧の時間を設け、閲覧後、審議することとするので、議第25号の説明を願う。

議第25号 平成28年度～平成31年度使用の沼津市立沼津高等学校中等部教科用図書の採択について

(市立高校長兼中等部校長 資料に基づき説明)

議第26号 平成28年度使用の沼津市立沼津高等学校教科用図書の採択について

(市立高校長兼中等部校長 資料に基づき説明)

久松委員長 それでは、20分間の教科書の見本閲覧時間とする。

久松委員長 それでは20分経過したので、ご着席いただきたい。

久松委員長 それでは、議第24号に対するご意見、ご質問等はいかがが。

三好委員 採択機構の関係は何年も同じであり、いろんな方の目を通して、偏ることなく採択されているように感じる。機構の中の、専門調査員会、地区教科書研究

委員会は、非常に重要なポジションであると思うが、調査委員会と研究委員会の採択に当たっての関係性はどのようなものか。一番重要なのは、地区教科書研究委員会なのか、選定にあたってはどこが一番ポイントなのか。

教育長 教科用図書専門調査委員会は、県全体を見ており、普遍的な研究調査を出すのが、地区教科書研究委員会は、沼津地区の三市三町で、地元の教材をうまく使っているかという視点でも見るものであるから、県の専門調査委員会の見方と、研究委員会とは視点が違う。地区教科書研究委員会は比較的地元に着目した教材を使う。ここでは採択されなくても、西部では採択されることもあるため、県は全般的に特色を示す。採択地区は11地区あるので、採択により、11地区使用する教科書が違う。

三好委員 沼津の採択地区の三市三町はどこか。三市三町が同じ教科書を使用するのか。
教育長 沼津市、裾野市、御殿場市、小山町、長泉町、清水町この地区は同じ教科書を使用している。

細沼委員 中学の社会の歴史的分野で、採択案の教科書と、その他の教科書では、東日本大震災と原子力発電所の事故について記載しているが、採択案の教科書はあまり触れていなかったように感じる。現代の分野のため最終ページであるが、全体的には妥当な評価と思うが、原子力発電所に触れていないのはどのように捉えているのか。事故後、毎日報道されていたが、持続可能な社会に必要な諸課題は、歴史でも、技術家庭の分野でも、持続可能な社会について考える単元があるとなっており、極めて現代的なテーマになっていると思うが、その評価について、採択に当たって言及していないのか。

教職員研修センター所長 東日本大震災については、どこの教科書も取り上げておりましたので、それらも含めて総合的に判断された結果である。

教育長 地区教科書研究委員会は、1ページ1ページ、全て項目ごとに見比べてやっている。おそらく、軽重はあると思う。この会社は、丁寧に行っている、この会社は少ないなどはあると思う。

教職員研修センター所長 震災については、どこも触れていると思うが、原発との関連については、すぐに出すことができない。

細沼委員 大震災については触れており、大震災と子ども達というテーマで大津波が襲ったなど書かれているが、どこにも原発の事故が起きたことが書かれていないようだが、その他のページで、原子力発電について触れられているのか。

教職員研修センター所長 公民の教科書には、資源エネルギー問題に関するところで、原子力発電の問題や事故について触れている。

細沼委員 公民で取り上げられているということがわかった。

三好委員 ばらつきはあると思うが、各教科で何社くらいずつ出ているのか。

教職員研修センター所長 国語—5社、書写—5社、歴史—8社、公民—7社、地理—4社、地図—2社、数学—7社、理科—5社、音楽—2社、技術・家庭—3社、保健体育—4社、美術—3社、英語—6社である。

三好委員 全国的には、全く採用されない会社もあるということか。

久松委員長 11地区あるとのことだが、ほかの地区の採択情報はあるのか。

教育長 結果が出るので、最終的にはわかる。

久松委員長 これら以外の教科書を採択するところがあるのか。

教育長 もちろん、地区によって全然違い、それぞれである。
静岡県全体では、世間で話題になるようなものは使用してない。

久松委員長 それでは、議第24号について、お諮りする。
沼津市教育委員会としては、平成28年度～31年度に使用する中学校用教科書を、駿東沼津地区教科用図書採択連絡協議会の提案通り採択することに同意することを可決することにご異議はいかがか。

各委員 異議なし。

久松委員長 異議なしと認める。
議第24号については、原案どおり可決することに決したので、事務局から、協議会長へ同意書を提出する。

久松委員長 それでは、議第25号に対するご意見、ご質問等はいかがか。

久松委員長 特にないようなので、議第25号につきまして、原案どおり可決することにご異議はあるか。

各委員 異議なし。

久松委員長 異議なしと認める。
議第25号については、原案どおり可決することに決する。

久松委員長 それでは、続きまして、議第26号に対するご意見、ご質問等はいかがか。

三好委員 市立高校の中等部とは、義務教育の採択のメカニズムがあると思うが、高校の場合は、学校だけで選択をしているということで良いか。

市立高校校長 義務教育とは違う。学校で各教科ごとに採択し、それを市教委に内申し、教育委員会で決定するという手順をとる。

三好委員 県立の他の高校も、学校独自に選んでいるということか。

教育長 学校によって、それぞれ目的が違うので、使う教科書もそれに併せて選択している。

久松委員長 それでは、ご意見も尽きたようなので、お諮りする。

久松委員長 議第26号について、原案どおり可決することにご異議はいかがか。

各委員 異議なし。

久松委員長 異議なしと認める。
議第26号については、原案どおり可決することに決する。

<報告>

1) 6月市議会定例会提出議案等について

(教育次長、資料に基づき説明)

沼津市議会第23期目がスタートした。議会の人事体制等を定める、第1回の臨時会が、5月21日から5月27日まで開催された。新しい、正副議長や常任委員会が決定されている。

第1回定例会となる、6月議会は6月9日から30日まで開催された。

教育委員会関係の議案については、現在の久松委員の後任となる教育委員の選任の同意を求める議案と、道路建設課から、沼津南一色線道路改良事業に伴う

高尾山古墳の発掘調査費の事業費の補正予算として提出されていた。

人事議案については同意され、補正議案については可決された。

教育委員の選任については、市内鳥谷にお住まいの川口浩史氏について、同意をされた。予算議案については、各方面からの反応があり、多くの関心を呼んでいたが、発掘調査に係る経費を計上し、予算議案として可決された。議会閉会后市長より、発掘調査については執行を保留し、関係者等と協議会を設置し、意見を聞きたい。との発言があった。

(一般質問について、資料に基づき説明。)

久松委員長

説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。

三好委員

霞議員の質問に、いきいき学校生活応援スタッフ等の質問があったが、先日、学校訪問をさせていただいた。各学校に1人ずつは配置されている現状であるとのことであるが、非常に現場は厳しいと感じた。1人1人に時間の制限があり、年間で多い方で540時間程度のため、一日従事する時間が非常に限られるため、年間通して従事するということでもない現状のため、いろんな状態の方がクラスにいたり、先生も時間がとられる。落ち着いて、子どもたちが学んでいくという基本になることができない。ここが整備されていかないと、学ぶ環境が作れないのではと感じた。全ての学級だとは思わないが、ここは手厚いことが良いため、予算がかかるところであるため、今後、市長との話で出していければと思う。

そして、佐藤議員の質問にあったように、長浜城については素晴らしい記念式典を行ったにもかかわらず、実際に通ってみると、長浜城の表示、駐車場についての案内がわからない。せつくなのでわかりやすい案内板を設置することが重要と感じる。

細沼委員

久松委員長と、先日学校訪問をした。やはり、支援を必要とする児童には、スタッフがついていた。大変そうなので、もっと多くのマンパワーが必要であると感じた。それぞれの児童が、十分に学習して、成長できる環境が重要であると感じた。

教育長

実際に見ていただくとおわかりのように、通常学級の中に、特別支援を必要とする児童が4～5%いるため各クラスに1人ないし2人いると、教員1人だとしてもその子たちに教員がかかり、ほかの子を授業にうまく乗せられないということがある。教育の専門家でなくて良いので、いきいきスタッフなどそばにいてくれる方が居ると助かるということが、学校としての本音のところである。まさに、マンパワーである。

三好委員

教室の外に出てしまう子がいるクラスは、担任だけでは見ることはできないため、学校の意見として現状を上げていただいて、予算を考えるなどしていきたい。

土屋委員

いきいきスタッフは、かなり大変のため時間が過ぎても、学校を離れることが出来ず、時給が出なくてもボランティアで学校にいてくださり、犠牲になっている現状がわかった。それでは気の毒だと感じた。

久松委員長

それでは、本件は報告を受けたということで、ご了承願う。

各委員 異議なし

2) 平成26年度 教育委員会事務点検・評価について

(教育企画室長 資料に基づき説明)

久松委員長 説明が終わったが、本件に対する、ご意見・質問等はいかがか。

三好委員 教育委員会の事務点検・評価を行うことで、後ろ向きにとらえるのではなく、この評価を受け、自分たちのやったことは良かったとプラスになるような方向になると良いと思う。

久松委員長 その他、特にないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

各委員 異議なし

3) 第31期沼津市社会教育委員会の答申について

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

久松委員長 説明が終わったが、本件に対する、ご意見・質問等はいかがか。

三好委員 この、答申を受けて、これを参考に検討していくということで良いのか。

生涯学習課長 まずは、生涯学習課内で、どのような方法で検討をしていくことが良いか相談する。教育委員会内で検討グループを作り、具体的実践的にこの答申をどのように生かし、生涯学習センターの機能をどのようにいしていけるか、考えていきたい。

教育長 いつもは、2年に1回諮問をして答申をいただき検討をしているが、今回は、立派なものをいただいているので、また諮問をするのではなく、2年間かけてプロジェクトチームを作るなど、どのような形になるかはわからないが、どこまで具体的にできるのか検討したい。生涯学習センターを作ってほしいとあるが、大切なことはあくまでも、生涯学習の考え方を普及していくための機能であり、どういう形が良いかを含めて具現化できるものから検討することで答申が生きてくる。

久松委員長 今後の中で、途中経過の報告等をいただきたい。

生涯学習課長 検討会等が立ち上がったら、その都度、報告ができる段階で報告をしていきたい。

久松委員長 それでは、本件についてはご報告を受けたということで、ご了承願う。

各委員 異議なし

久松委員長 報告事項は以上となるが、その他何かあるか。

<その他>

図書館事務長 図書館にて行われるイベントについて、報告したい。

9月26日土曜日に行う、ビブリオバトル中高生大会IN沼津を予定している。

「ビブリオ」とは、ラテン語で、書物という意味で、いわゆる書評合戦を行う。発表者が自分が読んで面白いと思った本を5分間で聴衆の前で説明し、聞いていた聴衆が、読みたいと思った本に投票をするという、書評ゲームを予定している。詳細は、来月報告する。

久松委員長 企画の紹介ということで、そのほか何かあるか。

生涯学習課長 6月13日、わたしの主張大会沼津市大会を開催し、発表者全てを県に提出した。

先日、県から、県大会への出場が決まったと通知があり、沼津市から2名の出場となったとの報告があった。

県大会については8月20日（木）に島田市プラザ大瑠璃で行われる予定。
結果については、わかり次第お知らせしたい。

教育長

2名選ばれたということは、大変すばらしいことで、今まで、沼津は1名ということが多かった。5年前は全国で優勝、一昨年は県の最優秀賞をいただいたこともあったが、選ばれない市町もあるため、ひとつの市から2人選ばれるのは、非常に珍しいことで、沼津は非常にレベルが高いということであるので楽しみにしている。

久松委員長

そのほか何かあるか。特にないようなので、以上をもって本日の定例会を終了する。

午後3時20分

閉会。